

学校スローガン

「自分で考え 決めて チャレンジ! みんなでつくる 明日の緑小!」



# 緑小だより

令和8年3月6日(金)発行 NO.38

留萌市立緑丘小学校



## ★卒業証書授与式について★

今年度の卒業式は、3月20日(金・春分の日)に行います。※振替休業日は16日(月)となります。

登校時間は学年によって異なります。在校生は6年生より遅い時間に来ることになっていますので確認をお願いします。

■6年生 8:40まで ■5年生 8:45まで ■1~4年生 9:00~9:15

式の終了後は全校で見送りをを行い、12:00までに下校します。

※年度始めに学校事務より周知しておりましたが、今年度から、卒業式当日に配付していた「お祝いケーキ」は廃止となりますのでお知らせいたします(留萌市の給食制度変更による給食費徴収方法変更のため)。(担当: )

## 一年生

入学した頃、毎日、教室に来ていろいろ教えてくれたり、遊んでくれたりした大好きな6年生。27日(金)の「6年生を送る会」で、1年生はプレゼントのペンダント作り、入退場のエスコートを務めました。6年生に手を引かれて歩いた「1年生を迎える会」から約1年。今度は、1年生が6年生をエスコートしました。6年生へのありがたうの気持ちがいっぱい詰まったメッセージを一人一人から伝え、ペンダントを6年生の首に掛けました。エスコートも無事に務めることができ、会が終わった後には、みんなとてもいい表情をしていました。次は卒業式で「ありがとう」の気持ちを表わせるように頑張ります!(文責: )



## 四年生

27日(金)に『6年生を送る会』が行われました。4年生が担当するのは6年生全員の似顔絵を描くことです。本番に合わせて絵を描き上げ、体育館に貼ることができました。4年生は13人で、6年生は27人。単純に計算すると、一人で2人分の似顔絵を描くことになりました。6年生に姉のいる子、委員会やクラブでお世話になった先輩の顔を描きたい子など、4年生全員で協力して、分担したり、教え合ったりしながら、仕上げることができました。6送会終了後には、6年生のみなさんからお礼の手紙をもらい、4年生の子たちをととても褒めてくれました。本来なら、こちらが感謝の気持ちでいっぱいのところですが、手紙には、たくさんの感謝の言葉が綴られ、取り組んで本当に良かったと安堵しました。6年生のみなさん、今までお世話になり、本当にありがとうございました!(文責: )



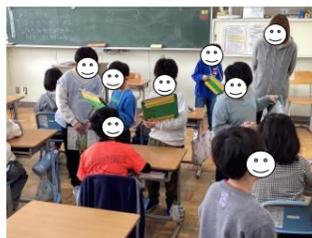
## とくし

1年桐組です。1年生での登校日が残り11日になりました。どんな風に1年の最後を過ごしたいか学級で話し合い、きらきらタイムで桐組だけの遊びの計画を立てたり、5日ごとに席替えをしたりしています。先週のきらきらタイムでは、子どもたちのリクエストのドッジボールをしました。今まで上級生にお任せしていたジャンプボールにも初挑戦!自信がないと言っていた子も、「本番前に何回か練習できるよ。チャンスだからやってみよう!」と誘うと、チャレンジしてくれました。1年間で出来るようになったことに自信をもって、更なるチャレンジをしていってほしいです。



## 二年生

生活科では、3年生の自分の姿を思い描く学習に取り組んでいます。先日は3松の理科の授業を参観し、業間休みには3年生へのインタビューも行いました。「理科や社会では、どのような勉強をしますか」などの質問をしたり、教科書を見せてもらったりしながら、進級後の生活を具体的に思い描いていました。参観前には、「3年生になったら勉強が難しくなりそうで心配だな」と話していた子もいましたが、参観後には「いろいろな場所に行けそうで楽しみ!」「理科の実験をしてみたい!」といった声が聞かれ、進級への期待が大きく膨らんだ様子でした。これまでに保護者の皆様にご協力いただいたアンケートの内容や今回の学習をもとに、「2年生までの成長」と「3年生になった自分」をテーマにしたビジョンボードを作成します。完成したらご家庭へ持ち帰りますので、ぜひお子さんと一緒にご覧ください。(文責: )

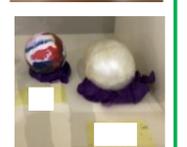


## 五年生

先週の「6年生を送る会」で5年生は、「6年生に感謝の気持ちをもち、みんなに楽しんでもらおう」というめあてのもと、全校交流の進行を務めました。事前のアンケート、クイズの内容、役割分担など自分たちで決め、「6年生クイズ」を最後までみんなで盛り上げることができ大成功!児童会本部の発表に関わった子も、堂々と自分の役割を果たしていました。2月は他学年と関わることが多く緊張も多かったと思いますが、「決心して行動する!」ことに自信を深めた子どもたち。そして、リーダーもたくさん育ちうれしく感じています。さて、理科の「人の誕生」の学習が終了しました。子どもたちは、0.1mmの受精卵が母体でへその緒を通じて成長生まれてきたということにとっても驚き、お家からのエコー写真や乳幼児期の写真を見ながら「命の尊さ」「親からの愛情」を改めて感じていました。ぜひ、この機会に命の大切さについて話題にしてくださいね!(文責: )



2年柏組です。26日(木)の図工の学習で、「〇〇のたまごをつくろう!」を行いました。ゴム風船に石膏を流し込んで10分ほどゆっくり回すと風船の型どおりにたまごができます。先に風船に好きな色の絵の具を入れておくと、その色のたまごが出来上がります。さらにたまごの表面に好きな色を塗って完成です。とろとろの石膏が固いたまごに変身するので、子どもたちは大喜び!楽しく作品作りをすることができました。たまごをやさしく回さないときれいな形にならないので、慎重に行っていました。3年生になっても作品作りを楽しく丁寧にできたらいいなと思っています。



## 三年生

3年生も終わりが近付き、次の学年に向けて、改めて日常の「言葉のつかいかた」について考える取組を行っています。まず、アンケートで「イヤな言葉」と「いい言葉」を書いてもらいました。すると、「いい言葉」が少なくてちょっと寂しい結果に…。アンケート結果を見て、子どもたちも少し驚いた様子でした。「イヤな言葉を減らして、いい言葉を増やしたい」という声が子どもたちからも上がりました。そこで「いい言葉アンケートの結果」を廊下に掲示し、いい言葉を見つけたらどんどん付箋に書いて貼ることにしました。すると、子どもたちはわいわいしながら、どんどん言葉を増やしていました。今週はそれをグループ分けして、どんな言葉が喜ばれるのかを一緒に考えていきたいと思います。(文責: )



## 六年生

27日(金)に「6年生を送る会」が行われました。6年生は「送ってもらう側」ですが、お礼の発表として、最後に在校生とクイズがしたいとのことでしたので、縦割り班でクイズをしました。みんなに喜んでもらえるよう班ごとに協力し合いながら、計画を立てて練習しました。当日も感謝の思いが伝わる発表になったと思います。その他1年生からはメダル、2年生からは招待状、4年生からは似顔絵をもらいました!3年生は当日のプログラム作成、5年生は「6年生クイズ」をしてくれて大いに盛り上がりました。その他代表委員会のクイズや先生方の発表もあり心に残る会になりました。来週からは本格的に卒業式の練習が始まります。お家の方には、引き続き、体調管理をよろしく願います。(文責: )



3年柏組です。理科「作って遊ぼう」の単元では、これまでに学習した電気や磁石の性質を利用したおもちゃ作りをしました。磁石の同じ極同士はしりぞけ合う性質を利用した「カエルレース」と、物には電気を通すものと通さないものがあり、電気を通す性質を利用した「パトカー」が出来上がりました。たくさんの飾りを付けてにぎやかになった「カエル」と、アルミニウムと赤い紙テープが交互になった道を「パトカー」が走ると豆電球が点滅します。自分たちで作って、思ったとおりに動いたり、電気がついたりした瞬間の笑顔が印象的でした。さあもうすぐ4年生。どんどん、いろんなことに挑戦してほしいです。



# サイバー CYBER NEWS 2025 No. 6

## インターネットの悪口もいじめになる!?

**げん実** <学校>

学校に行きたく  
ない...

きらい あっちいけ バカ!

**インターネット** <SNS>

マジうざい。  
ちょうしの調子乗るな。  
もうグループ入れないから

悲しい...  
消えたい...

## どちらもひどい いじめです!!

インターネットでの悪口もいじめになります!

### インターネットの注意点!

インターネットの書きこみは  
あっという間に広まってしまう

一度インターネットに書きこみすると  
かん全に消すことはできない

### メッセージを送るときのやくそく

人をきずつける言葉は  
使わない

送る前に内ようを  
見直す

いやなメッセージや  
悪口は広げない

おもしろ半分、悪ふざけた動画などをのせるのも、ぜったいだめだよ!

### 保護者の皆さまへ

近年、子供同士がSNSや掲示板の投稿等で人の悪口を書き込むなどのインターネット上のいじめが深刻な問題となっています。  
インターネット上の誹謗中傷は、名誉毀損や侮辱罪という犯罪に該当するケースもあります。  
お子様がインターネット(特にSNS)を利用する前に、「人が傷つく言葉はインターネット上でも使わない」などのルールを決めて、家庭でしっかりと話し合しましょう。

# サイバー セキュリティ インフォメーション Cyber Security Information 2025 Vol. 6

## 不適切な動画をSNSに投稿するとどうなる?

### 考えてみましょう

学生Aが学生Bを暴行している動画を、学生Cがスマートフォンで撮影した。  
後日、学生Cは面白半分SNSにその撮影した動画を投稿した。

## それぞれの学生に起こりうるSNSトラブルとは!?

SNSに投稿することにより、あっという間に拡散し、動画に映っている学生Aや学生Bの個人情報が特定される可能性があります。  
特定された場合、学生Aは学生Bに対する暴行罪もしくは傷害罪等で処罰される可能性があり、学生Cも幫助罪(犯罪を手伝ったり助けること)に問われる可能性があります。ところが、それだけでは終わりません。

### <学生Aの場合>

個人情報を特定され、多くの人から誹謗中傷を受ける可能性がある

### <学生Bの場合>

個人情報を特定されることで、プライバシーの侵害を受け、心に深い傷を負う

### <学生Cの場合>

AやBの名誉を傷つけたとして訴えられ、刑事上や民事上の責任(損害賠償など)を負う可能性がある

SNSで不適切な動画を投稿すると、投稿した人、投稿された人、どちらにとっても収拾のつかない事態を招くおそれがあります。

## 人を傷つけるような行動はしないで

### 質問 暴行する動画を拡散していいの?

自分が動画を拡散したことでさらに大きな騒ぎになるかもしれません。  
過剰な正義感や興味本位で拡散することは絶対にやめましょう。

一度SNSに投稿してしまうと、完全に消すことはできません。  
一生残る傷(デジタルタトゥー)となってしまいます。  
人を傷つけるだけでなく、投稿者自身にも重大な影響を及ぼすおそれがあるので、動画の投稿は慎重に行いましょう。

誰かを傷つける投稿は  
**しない!**  
**広げない!**